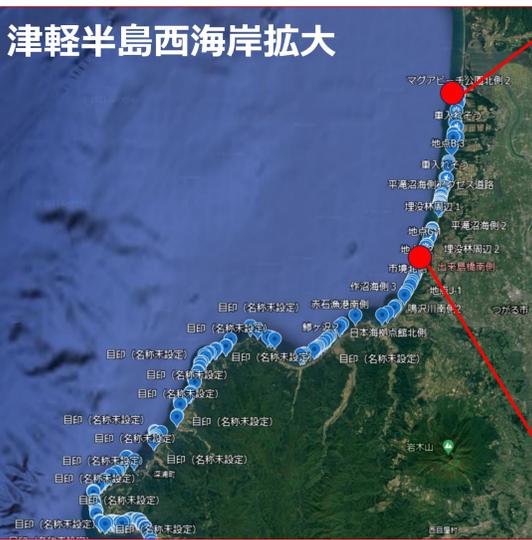
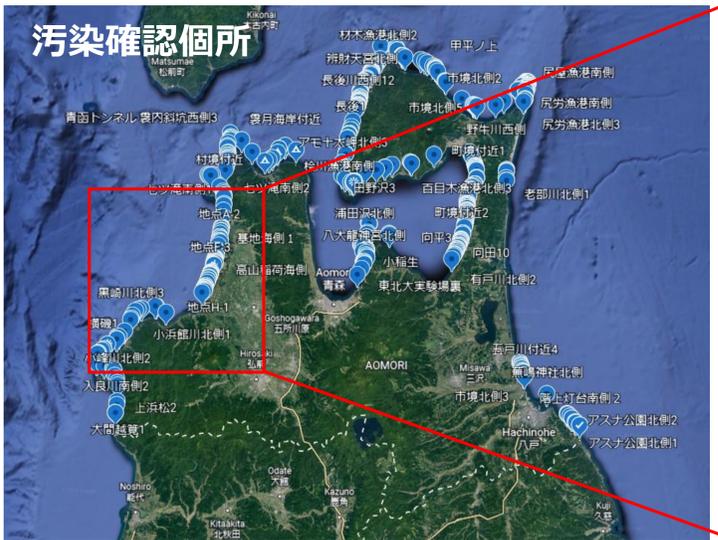


# 海岸漂着プラスチックの収集と県内設備を活用したリサイクル実証

## 海岸漂着プラに対する既存リサイクル設備のマッチング、収集における労力を実地で調査

### 青森県海岸におけるプラごみ漂着の現状

衛星画像を活用した漂着地点の机上調査



現地写真

つがる市車力漁港南側マグワビーチ付近  
2021/08/07



つがる市出来島海岸2021/07/11  
今回の活動の収集地点



- ✓ 冬季に卓越する北西からの季節風により、西向き海岸に漂着が集中  
他都道府県よりも、漂着箇所が多い(特に津軽半島西海岸)
- ✓ 現状の処理法が埋め立てしがなく(塩分付着で焼却できず)、  
根本的な問題解決の手段がない

⇒ ボランティア活動と県内設備利用を組み合わせた漂着プラ有効利用の実証を実施

### 実証実験

✓ 大学への寄付金を活用し、海岸でのプラスチック収集と処理費用を支出



収集前



収集後



約40名の学生有志とプラスチック収集  
(収集日2023年8月5日、実働4時間)



8トン車満載(約1t)の  
プラスチックを収集

### 東京鐵鋼八戸工場の既存設備を活用したケミカルリサイクル

自動車破砕物(ASR)の炭化設備に投入



電炉での棒鋼生産に使用(コークス代替)

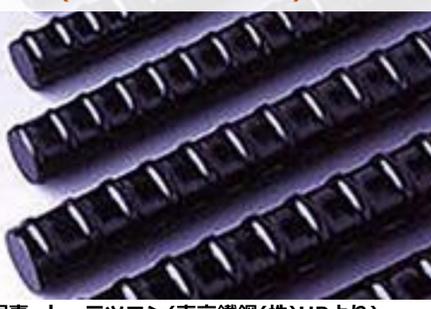


写真: トーテツコン(東京鐵鋼(株)HPより)

既存設備が耐塩素能や砂分離に相当する機能を持ち、海岸漂着プラスチックを支障なくリサイクルできることを確認

### 担当



吉田 曉弘

弘前大学地域戦略研究所 准教授

### 本活動を含む本研究に関するご質問等

【問い合わせ先】

弘前大学 研究・イノベーション推進機構

産学連携相談窓口

担当URA: 白井 隆之

E-mail: [ura@hirosaki-u.ac.jp](mailto:ura@hirosaki-u.ac.jp) / TEL: 0172-39-3176